

2025 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

サテライト三日市場

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-②⑥⑦)  
総括表

令和8年3月31日  
小規模多機能型居宅介護 サテライト三日市場

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月12日 ( 19:55~20:10 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	0人	0人	6人

前回の改善計画

職員会で検討したい利用者さんの、目標の読み合わせをし意識する。  
その日の終わりに、どんな関わりができたか振り返る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員会やチーム会の目標の見直しで意識して考えるよう心がけた。確認ができた。
- ・その日の振り返り、関わりを思い返すことは出来なかった。難しかった。個々では振り返りができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	3	1	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	4	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	1	5	0	6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	2	0	6

できている点

- ・チーム会で目標を見直し、目標を達成するために気づいたことを職員会で検討した。
- ・目標への対応をその時は意識することができた。
- ・日々の生活の中での「～したい」は実現することができた。

できていない点

- ・長期的な「～したい」についての関わりはできていない。関わりを振り返る習慣を意識できなかった。
- ・個々の目標を把握できない。目標を忘れてしまう。

次回までの具体的な改善計画

- ・「～したい」の内容を見直したい。
- ・職員会前のチーム検討で、目標のファイルを用意し、チームで確認をする。
- ・個々の目標をバイタル帳にファイルし挟む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月12日 ( 19:55~20:10 )

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	0人	0人	6人

前回の改善計画
・地域の方や、ボランティアの方に来てもらえるようなイベントを考えていく。 (オカリナの方や、隣の方と交流する)
前回の改善計画に対する取組み結果
・オカリナの方、読み聞かせ、子育てボラ、近隣の方(そば打ち)をお呼びし交流ができた。 ・地域の方に来てもらえるイベントは考えられなかった。 ・避難訓練やカフェなどで民生委員さんとも交流でき近所へは五平餅を届けたりし交流ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	2	2	1	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	3	1	1	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	0	0	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	3	1	6

できている点
・三日市場カフェに職員も順番に参加し、地域包括や民生委員さんの話が聞けた。・サービス担当者会、ケア会議、運営推進委員会に参加している。中学生の受け入れを続けている。近所の方にそば打ちに来てもらった。・紙芝居やオカリナのボランティアさんに来てもらった。地区の文化祭、地域の掃除、草刈り、新年会などに参加できた。子育てボラさんを募集し久しぶりに来てもらった。

できていない点
・訪問介護や福祉用具の方との会議には担当の職員以外参加していない。 ・利用者さんやご家族、ボランティアの方以外の方に気軽に寄って頂くには立地的に難しく、小規模多機能型居宅介護もあまり知られていない。

次回までの具体的な改善計画
・三日市場カフェを継続し少しずつ地域の方に小規模多機能を知ってもらう。 ・三日市場カフェや運営推進会議、サービス担当者会に月の係りなどを順番に参加できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月12日 (19:55~20:10)

7. 運営

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	1人	0人	6人

前回の改善計画
・キャリアパスを利用し、個々の意見やアイデアを伝えやすくしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・管理者との面談で事業所の今の状況や気になることを考えることができ、伝えることもできた。 ・伝えることはできたが、日々の業務の中では意識できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	4	2	0	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	0	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	2	0	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	3	0	6

できている点
・家族からの相談に対し職員間で相談でき改善することができた。 ・モニタリングで聞いたニーズを共有し、対応している。 ・組合に加入し活動に参加できた。 ・昨年の反省を生かし三日市場カフェに月の係りが代表で参加できた。

できていない点
・地域の行事、活動に参加はできているが、地域と協働した取り組みはできておらず難しさを感じる。 ・地域の方への働きかけができていない。その為地域の方に必要とされる拠点にはなれていない。

次回までの具体的な改善計画
・防災グッズを屋外のロッカーに収納し、災害時に地域の方に使っていただけるようにする。 ・地域の方に AED も含め設置してある事を伝える。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表(2025年度)

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・ 事業所 の特徴	住宅に囲まれ少し奥まった所がありますが、一步外に出ると田んぼや畑が広がるのどかな場所です。ご利用者様からも「ここからの景色はいつ見ても良い」と言っただけです。昨年庭を広く駐車場にしてもらったことで災害時の避難がより安全に行えるようになりました。地域の行事にも職員が交代で参加しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護サテライト三日市場	管理者	今村 喜恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	3人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部評価の項目 2「～したい」の実現 6「連携・協働」 7「運営」の3項目を全員で確認する。	日々の生活の中での「～したい」は実現することが出来た。三日市場カフェに地域の方も参加してもらいお話が聞けた。モニタリングで聞いたニーズを共有し対応した。	本人の希望をよく聞いて対応していると思う。三日市場カフェには誰でも行けるのか？どんな人が参加できるのか分かりづらい。細かなことも心配りができている。家族も助かっていると思う	外部評価の項目 3「日常生活の支援」 4「地域での暮らしの支援」 8「質を向上する為の取り組み」について職員全員で取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	庭を活用し楽しめることを増やす。季節、気候に合わせて設備を整える。	庭を駐車場に整備。隅にブロックで囲み小さな畑を作り野菜の収穫を楽しむことができた。焼き芋や焼肉も楽しめた。非常用出口の整備もしていきたい。	庭が広くなり駐車場も広がって良かった。日陰は無くなったがプランターなどで花も楽しめる工夫ができている。	非常用出口の整備
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事に参加できることがあれば引き続き参加して行く。	伊賀良地区の文化祭や地区の行事には引き続き参加することが出来た。知って頂くために文化祭では小規模多機能について展示させてもらった。	職員が交代で掃除や避難訓練など良く参加してくれている。地域の方に知ってもらうために頑張っている。「何かある」とは思ってもらえてきている。	三日市場カフェの参加を呼びかける工夫として公民館にも置かせてもらう。どなたでも参加できることを分かりやすくチラシに入れる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	希望があれば家族と相談しお手伝いする。	旅行同行やお墓参りの希望が今年度は無く、買い物同行がほとんどだった。利用者様が高齢となり行事に誘っても行きたがらなくなった。	買い物一つも家族が連れて行くとなると大変。本人も自分で選ぶことができ嬉しかったと思うし家族も有難かったのでは。	引き続き希望に沿って買い物同行などしていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	事例検討を行い、アイデアや意見を頂き生かしていく。	事例検討を3回行いその内1回は意見を生かし失敗や改善点を見直すことができた。	良い事ばかりでなく失敗もある。でも次どうしようか考えることが大事。良くやっている。事例検討で何をしているか知ることができた。	事例検討や事例発表を行いその後の変化や取り組みも伝えて行く。
F. 事業所の防災・災害対策	BCPを見直し3年たったので新しく書き換えた物を委員の皆さんに配る。	見直しを行い運営推進委員の方にも最新版をお配りすることができた	大事なことだが大変なことだ。	緊急連絡網の訓練を行う。災害用備蓄品を緊急時に取り出しやすい場所への移動をする。

